

「満蒙開拓」を考える ～没後 50 年・阪本牙城の歩みとともに～

(SAKAMOTO GAJYO 1895 - 1973)



小松左京や大江健三郎も愛読した日本のロボット漫画の草分け「タンク・タンクロー」の作者阪本牙城は、1939(昭和14)年44歳で満洲に渡る。16～19歳の満蒙開拓青少年義勇軍の少年たちを訪ね歩いて、励まし、漫画を教える。北朝鮮で敗戦を迎え、苦行を重ねて帰国。61歳で漫画の筆を折り、水墨画に転じる。

漫画家・阪本牙城の見た「満蒙開拓」とは何だったのか？ 没後50年を機に、作品とともに振り返る。



「満洲新聞」1939. 8. 10. 夕刊

●日時: 12月16日(土)～24日(日)11:00～19:00

*オープニング 12/16(土)13:00 *12/18(月)休館日 *最終日 12/24(日)17:00まで <入場:無料>

●会場: 千代田区立九段生涯学習館2F 「九段ギャラリー」

(東京メトロ東西線・半蔵門線、都営新宿線「九段下」駅下車 6番出口すぐ前、千代田区九段南 1-5-10 地図裏面)

●主催: 千代田・人権ネットワーク ●共催: 阪本牙城没後50年展実行委員会

●連絡・問合せ先: ☎080-5079-5461 E-Mail: cfrtyo@gmail.com

●協力: 「満蒙開拓」を考える会、シベリア抑留者支援・記録センター、タンクロー出版、満蒙開拓平和通信(末広一郎) ピースあいち、細井博充氏



南洋から見える野乾草の堆積



坊々の髪を剃る満蒙の母と子 『鉄の兵隊』(月刊満洲社、1943年)より



1935年



1939年



1943年



2004年

●主な展示作品・資料●

『タンク・タンクロー』初版本、原画、『鉄の兵隊』、『漫画現地報告』(満洲新聞版)、未発表原稿、水墨画、細井芳男画「満蒙開拓義勇軍漫画・満洲篇」、満蒙開拓青少年義勇軍資料、満蒙開拓団資料、ほか
 *連日 14:00 からギャラリートークを予定。ゲスト=12/16(土)一條三子さん、12/23(土)加藤聖文さん、12/24(日)藤井健志さん、ほか
 ゲストの案内⇒<https://www.review-manmoukaitaku.com/>
 *参考:『鉄の兵隊』(電子書籍版 <https://ebookjapan.yahoo.co.jp/>)
 『大東亜共栄圏のクールジャパン』(大塚英志、集英社新書)
 『満蒙開拓団一國策の虜囚』(加藤聖文、岩波現代文庫)

阪本雅城 (1895-1973)

1895年東京都あきる野市五日市に生まれる。東京府立第二中学校卒業。漫画家「牙城」を名乗り、ロボット漫画『タンク・タンクロー』を講談社「幼年倶楽部」に連載して人気を博す。東日、大毎小学生新聞に漫画『ジャンケンポンちゃん』連載、金の星社刊。1939年満洲開拓総局の広報担当嘱託に。満洲各地の満蒙青少年義勇軍訓練所を訪ね、漫画指導。『漫画現地報告』『開拓三代記』『鉄の兵隊』など発表。水墨画も本格的に始める。1945年8月ソ連の進攻を受け、開拓総局職員の留守家族850人をまとめ帰国の途に。途中北朝鮮で終戦を迎え、收容所などで1年間を過ごす。多くの苦難を体験。1946年帰国。その後は漫画家の筆を折り水墨画に専心。本名=坂本雅城(まさき)、水墨画号は「雅城」。1973年没。享年77歳。



(<https://www.ne.jp/asahi/tank/tankrou/gajyou/ga-1.html> より)



元義勇軍漫画部隊・細井芳男画『土の戦士・満洲版』より

